

製品名: Repac ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab17022

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	60kDa

抗原情報

遺伝子名	RAPGEF5 RAPGEF5; GFR; KIAA0277; MRGEF; Rap guanine nucleotide exchange factor 5; Guanine nucleotide exchange factor for Rap1; M-Ras-regulated Rap GEF; MR-GEF; Related to Epac; Repac
別名	
遺伝子 ID	9771.0
SwissProt ID	Q92565
免疫原	抗血清はヒト RAPGEF5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 431-480

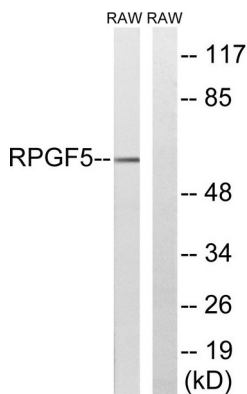
背景

RAS (HRAS; MIM 190020 参照) サブファミリーに属する GTPase は、シグナル伝達において、GTP/GDP 制御スイッチとして機能し、不活性 GDP 結合状態と活性 GTP 結合状態を切り替えます。RAPGEF5 などのグアニンヌクレオチド交換因子 (GEF) は、活性 GTP 結合状態を維持するために GTP の獲得を促進することで RAS 活性化因子として機能し、細胞表面受容体と RAS 活性化を結びつける重要な役割を担っています (Rebhun et al., 2000 [PubMed 10934204])。[OMIM 提供、2008 年 3 月]、機能: RAP1A、RAP2A、および MRAS/M-Ras-GTP のグアニンヌクレオチド交換因子 (GEF)。MRAS との関連により Rap1 の活性化が阻害されます。類似性:1 つの N 末端 Ras-GEF ドメインが含まれます。類似性:1 つの Ras-GEF ドメインが含まれます。組織特異性:広く発現しており、脳で最も高いレベルで発現しています。、

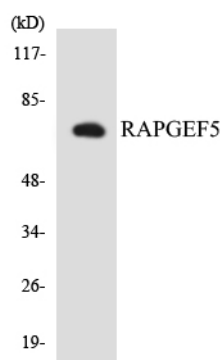
研究分野

アクチンダイナミクスの制御; AMPK

画像データ



RAPGEF5 抗体を用いた RAW264.7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



RAPGEF5 抗体を使用した COLO205 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。